

比治山大学

子ども発達教育学科

ニュースレター3号

## ■「高校生のための保育・教職入門」

### 連続講座を実施しています

子ども発達教育学科では、今年度より「高校生のための保育・教職入門」を開催しています。

比治山大学への入学を志望する・しないにかかわらず、保育士・教員養成をぜひ体験してみてください。各回とも事前予約制、13時～16時（最大）の開催となります。次のQRコードからお申し込みください。

（感染症の拡大により、一部日程が変更となりました）

- ・第2回 7/25 子どものこころ、子どもと英語教育
- ・第3回 8/8 子どもの世界\*
- ・第4回 8/29 保育や教育の役割\*
- ・第5回 9/26 保育・教職をめざすには\*  
（在学生が担当します）

<\*の回は、オープンキャンパスと同時開催です>



## ■学校現場に対応した教具を活用

子ども発達教育学科では、昨年度より小学校で始まった「プログラミング教育」で、各自治体が採用しているプログラミング教材の活用を始めています。また、「GIGA スクール」により広島県内の学校で利用が始まった Google の教育版アプリ（Forms, Classroom など）は、5年前から授業で利用しています。今年度からは、広島市や松江市などが採用している電子黒板を購入し、模擬授業などでの活用を始めました。学校現場に対応した授業がそれぞれ進められています。



電子黒板を使った模擬授業

## ■第2回講座「子どものこころの発達」

保育者・教育者が子どもと関わったり、子どものことを考えたりする際には、「子どもと同じ目線に立つ」ことが大切だと言われます。「同じ目線」とはどういうことなのでしょうか？ 子どもと大人では見え方が違うのでしょうか？今回は子どものこころ（認知）の発達について一緒に考えてみましょう。

（講座担当：田崎慎治）

3号館オープンラボ



HUJIYAMA



LEGOを使ったプログラミング授業



授業「理科II」で顕微鏡観察

## ■第2回講座「子どもと英語教育」

日本の将来を担う子どもたちには豊かな国際感覚が求められます。当然ですが、その子どもたちをサポートする保育者・教員にも国際感覚は必要です。

町を見渡せば至る所で英語を見ることができますが、実は「変な英語」があふれています。何が変なのか、あなたにはわかりますか？

(講座担当：大牛英則)

## ■勝負の夏、4年生は今！ 一教員採用試験に向けてー

現在、私は小学校教諭になるために日々教員採用試験の勉強に取り組んでいます。

感染拡大防止で大学に登校できない日が続きましたが、自宅で学習する際は、友達とzoomを9時から夕方6時まで繋いで会えない状況でも仲間と支えあいながら頑張っています。

4年 山領早葉（比治山女子高等学校出身）



私が教員採用試験のためにやっていることは、生活リズムを整えること、1日の勉強内容を決めて行うことです。朝は6時半までに起きて、朝から勉強をします。夜は12時までには寝るようにしています。また次の日の勉強内容を前日の夜に考えておくと、朝起きてから効率よく勉強をすることができます。無理せず計画的に勉強することを心がけています。

4年 石川光（島根県立益田高等学校出身）



このニュースレターは、毎月発行します。次号は「高校生のための保育・教職入門」のご報告や、学生の活動の様子をご紹介します。



3号館ラウンジ

